

関西部会 2025 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】 2025 年 4 月 19 日(土) 13:30～17:00

※13:00～13:30 関西部会・会員総会を開催

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階) (上記会員総会と同一会場)

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名: 「アントレプレナー・マーケティングのフロンティア」

テーマの趣旨: アントレプレナーが生み出す起業、新事業、地域創生に対する、企業、社会の関心と期待が高まっています。この領域での教育、研究、社会貢献に、商業・マーケティング研究者がかかわることも増えています。4 月例会ではアントレプレナーの理論であるエフェクチュエーションを基軸に、研究報告と実践事例紹介を行います。会員の皆さまがアントレプレナー・マーケティングへの理解を深めていただく機会となることを願っています。

13:30～13:35(5 分)

解題

栗木契(神戸大学)

13:35～14:05 (30 分)

報告(1) 「エフェクチュエーションを支える『対話的・共感的な理解』」

報告者:栗木契(神戸大学)

14:05～14:20 (15 分) 質疑応答

14:25～14:55 (30 分)

報告(2) 「不確実性とエフェクチュエーションの関係―企業による市場創造事例の質的比較分析―」

報告者: 横山斉理(同志社大学)、吉田満梨(神戸大学)、栗木契(神戸大学)

14:55～15:10 (15 分) 質疑応答

(休憩 15 分)

15:25～16:10 (45 分)

ゲスト講演「1000 件超の新規事業創出を重ねるオカビズでの支援事例とそのノウハウ」

報告者: 秋元祥治 (岡崎ビジネスサポートセンター チーフコーディネーター、武蔵野大学アントレプレナーシップ教授)

16:15～17:00 (45 分)

パネルディスカッション「アントレプレナー・マーケティングの可能性」

司会:栗木契(神戸大学)

パネリスト: 横山斉理(同志社大学)

パネリスト: 秋元祥治 (岡崎ビジネスサポートセンター チーフコーディネーター、武蔵野大学アントレプレナーシップ教授)

-----6月部会研究会-----

【日時】 2025 年 6 月 21 日(土) 13:30～16:50

※13:00～13:30 部会理事・幹事による役員会開催。

【会場】 同志社大学今出川キャンパス 良心館 305 教室

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

日本マーケティング学会ユーザー・イノベーション研究会 後援セッション

テーマ名: 「ユーザー・イノベーション研究の射程拡張: 理論的深化と適用領域の広がり」

テーマの趣旨: 1970 年代に、従来の「企業起点のイノベーション」という伝統的枠組みに対し、それとは異なる視座として「ユーザー起点のイノベーション」が提起されたことを端緒に、ユーザー・イノベーション研究は発展してきた。近年では、その対象、手法、成果の観点から、研究の射程が大きく拡張している。たとえば、イノベーションを起こすユーザーの範囲は、企業外部の先進的なユーザーにとどまらず、企業内部における従業員でありつつ、自社分野の製品を日常的に利用する先進的なユーザーにまで広がっている。また、イノベーションの実現手法も、個人のスキルやコミュニティとの共創に加え、生成 AI との共創など、新たな技術環境を背景とした実践へと発展している。さらに、ユーザー・イノベーションの成果も、単に革新的な製品が開発されるだけでなく、ブランディングやプロモーションをはじめとするマーケティング活動全般にまで及んでいる。本セッションでは、こうしたユーザー・イノベーション研究の理論的な深化と適用領域の広がりに注目し、最新の研究成果を共有するとともに、今後の研究の方向性についても展望する。

13:30～13:35(5 分)

解題「ユーザー・イノベーション研究の射程拡張: 理論的深化と適用領域の広がり」

西川英彦 (法政大学)

13:35～14:15 (40 分)

報告(1)「複合的な共創情報の開示は、ユーザー発案製品の評価にどのような影響を与えるのか？」

報告者:岡田庄生 (法政大学)・西川英彦 (法政大学)

14:15～14:35 (20 分) 質疑応答

(休憩 5 分)

14:40～15:20 (40 分)

報告(2) 「企業内リードユーザー発案製品のラベル効果」

報告者: 渡邊裕也(株式会社ユニテッドアローズ)・岡田庄生(法政大学)・西川英彦(法政大学)

15:20～15:40 (20 分) 質疑応答

(休憩 10 分)

15:50～16:30 (40 分)

報告(3) 「ユーザーイノベーションを支援するツールキットとしての生成A I：その可能性と課題」

報告者:水野学(日本大学)

16:30～16:50 (20 分) 質疑応答

-----7 月部会研究会-----

【日時】 2025 年 7 月 19 日(土) 14:00～17:00

【会場】 大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階)

【報告者および報告論題】

・日本広告学会関西部会との合同開催

14:00～14:05 本例会の趣旨

【日本商業学会関西部会セッション】

14:05～14:35 (報告 20 分、質疑応答 10 分)

報告(1) 「インフルエンサー・マーケティングにおけるスポンサー提示の影響：フォロワーの購買意図とエンゲージメント行動の実証分析」

報告者:桂隠(神戸大学大学院)

14:35～15:25 (報告 30 分、質疑応答 20 分)

報告(2) 「営業による事業創出の考察：印刷会社の新事業事例研究から」

報告者: 本下真次(岡山理科大学)、成尾恒一郎(大興印刷株式会社)

15:25～15:40 休憩

【日本広告学会関西部会セッション】

15:40～17:00

報告「明治、大正期における森下仁丹の海外展開と広告戦略 ―仁丹時報、新聞広告、屋外

広告からみえるものー」

報告者:井出文紀（近畿大学）

-----9 月部会研究会-----

■九州部会との合同開催

【日時】 2025 年 9 月 20 日(土) 13:30～17:00

【会場】 大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階)

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名: 「流通革命と公器セッション」

13:30～13:35(5 分)

解題

栗木契(神戸大学)

13:35～14:25 (50 分)

講演「岡田卓也の時代: 公器の理念が支えた静かなる流通革命」

講師:石井淳蔵先生(神戸大学名誉教授)

14:25～14:45 (20 分)

コメントおよび質疑応答: 栗木契 (神戸大学)、崔相鐵 (関西大学)

(休憩 10 分)

テーマ名: 「地域ブランドセッション」

14:55～15:35 (40 分)

報告(1)「広島お好み焼きのビジネス・エコシステムにおける経路依存性と偶発性」

報告者:細井謙一(広島経済大学)

15:35～15:55 (20 分) 質疑応答

(休憩 5 分)

16:00～16:40 (40 分)

報告(2)「ブランド・システムとしての地域ブランド理解についての考察」

報告者:金丸輝康(大阪学院大学)、明神実枝(福岡大学)

16:40～17:00 (20 分) 質疑応答

-----11 月部会研究会-----

【日時】 2025 年 11 月 15 日(土) 13:30～17:00

【会場】 大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階)

【報告者および報告論題】

院生セッション

13:30～14:00(30 分)

報告「アドベンチャーツーリズムに関する考察ー沖縄観光を事例としてー」

上原彰公（沖縄国際大学産業総合研究所）

コーディネーター・セッション

テーマ名: 「みんなで考えよう！ オムニチャネル研究」

14:00～14:05(5 分)

解題

近藤公彦（北海道武蔵女子大学）

14:05～14:45(40 分)

報告(1)

「オムニチャネル研究への学際的アプローチ」

近藤公彦（北海道武蔵女子大学）

(休憩 5 分)

14:50～15:30(40 分)

報告(2)

「オムニチャネルとマーケットシェイピングー商業とマーケティングの相克」

高嶋克義（追手門学院大学）

(休憩 10 分)

15:40～16:20(40 分)

報告(3)

「オムニチャネル化が促す小売企業のデジタル協働型組織変革」

今井紀夫（阪南大学）

(休憩 5 分)

16:25～17:00(35 分)

パネルディスカッション

近藤公彦（北海道武蔵女子大学）

高嶋克義（追手門学院大学）

今井紀夫（阪南大学）

-----1 月部会研究会-----

【日時】 2026 年 1 月 24 日(土)13：30～17：00

【会場】 大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階)

【報告者および報告論題】

コーディネータ・セッション

テーマ：「地域創生における SDG s とマーケティング」

テーマの趣旨：地域創生におけるマーケティング実践の事例を題材に、その進め方や特徴、そしてその効果について多様な視点から考察した研究成果を報告する。

なお、本セッションは、「地域創生マーケティング研究会」（日本マーケティング学会リサーチプロジェクト）の研究成果の一部である。

コーディネータ：西村順二(甲南大学)

13：30～13：40(10 分)

解題「地域活性化視点に見る SDGs の一つの捉え方」

西村順二

13：40～14：20(40 分)

報告(1)「SDGs・地域創生におけるマーケティングの役割―地域実践からの一考察―」

報告者：山口夕妃子(佐賀大学)

14：20～14：25(5 分)質疑応答

14：25～14：55(30 分)

報告(2)「『デザイン経営』からみるテオリの竹循環型ビジネス」

報告者：陶山計介(関西大学名誉教授)

14：55～15：00(5 分)質疑応答

(休憩 10 分)

15：10～15：50(40 分)

報告(3)「SDGs と倫理的消費」

報告者：田中洋(中央大学名誉教授)

15：50～15：55(5 分)質疑応答

(休憩 5 分)

16：00～16：55(55 分)

パネルディスカッション

パネラー：陶山計介、田中洋、山口夕妃子

モデレーター：西村順二

16：55～17：00(5 分)

閉会の辞と事務局連絡